

# 博物館だより

No.52

平成22年8月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行  
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13  
TEL 0930-33-4666  
FAX 0930-33-4667

## 不動Part5 向井澄男写真展

当館では8月29日まで、企画展「不動Part5 向井澄男写真展」を開催しています。

向井澄男さんは長年にわたり京築地方の風物を撮り続けた写真家で、その作品は数万点にのぼります。平成15年に亡くなられてのち作品は遺族から当館へ寄贈され、現在整理作業を進めています。

今回の企画展では、整理が終った作品群から「人と自然」をテーマに、約120点の写真を展示しています。

ぜひ、「お来館下さい。」

■開催期間 ～8月29日（日）



▲九日まつり(みやこ町節丸・平成4年撮影)

## 第15回 小学生歴史たんけん 作文コンクール作品募集!

色々なことにチャレンジできる

夏休み、日本や世界各地はもちろん、身近な町や地域の歴史を図書館や博物館で調べたり、まわりの人たちに取材して「歴史たんけん」してみませんか？夏休みにならが調べた歴史のことをまとめた作文を次のとおり募集します！

○京築地方の小学生5・6年生なら  
○内容はふるさとの歴史や歴史の本を読んだ感想、旅行先で調べた歴史など、歴史に関することと誰でもOK！

### 結果発表

♪結果発表  
9月10日（金）

平成22年10月下旬。参加賞のほか、優秀賞に賞状・賞品を贈呈。

なら何でもOK！  
◎400字詰め原稿用紙3～5枚程度にまとめてください。

### 応募方法

作品に住所・氏名・学校名・学年を書き、個人または学校単位で当館へ郵送して下さい。

♪しめきり日  
9月10日（金）

### 国作八反田遺跡 出土遺物展示説明会

東九州自動車道建設にともなって発掘調査を行った「国作八反田遺跡」の出土遺物の展示説明会を次のとおり開催します。ぜひお来館ください（無料です）。

■日時 8月28日（土）午後1時～2時30分

※この時間帯で職員が隨時説明。  
※見学所要時間は30分程度です。

⑤ 〈ヒント〉全員の代表

聖  
帝  
天  
皇

⑥ 〈ヒント〉人の命に〇〇はない

◎答え

（反対向きに見てください）

●国作八反田遺跡の概要是  
本紙裏面をご覧ください。

## 永沼家住宅見学会 参加者募集！

博物館友の会では、国指定重要文化財「永沼家住宅」の見学会を次のとおり開催します。お気軽にご参加ください。

■日時 8月22日（日）14時～

■場所 永沼家住宅（犀川帆柱）

### 講師

（財）文化財建造物保存技術協会

（永沼家住宅修理事業の設計者）

東阪和弘氏

■申し込み方法

8月19日（木）までに当館へ電話にてお申し込みください。交

通手段の準備等のため、必ず事前のお申込みをお願いします。

### その他

友の会の会員でない方は、資料代等実費500円が必要です。

孝  
友  
義  
理

義  
理  
義  
理

義  
理  
義  
理

①

《古文書解読コーナー》

# みやこの歴史発見伝 40

弥生時代後期の水辺の村

## 国作八反田遺跡

国作八反田遺跡の調査

皆さんもご存じのよう、東九州自動車道建設に伴つてみやこ町を含む周辺市町の各地で発掘調査が行われています。みやこ町教育委員会でも平成21年6月から平成22年7月まで国作八反田

遺跡の調査を行いました。この遺跡は県道椎田勝山線と東九州道が交差する予定地の南側にあたります。また、約600m東に離れた祓川の対岸には弥生時代の王墓として知られる徳永川の上



▲国作八反田遺跡の位置



▲平成21年度の調査範囲(上空から)

集落のそばの川にありました。流路の中に埋まつた土からは多量の土器とともに木製品が出土しました。流路の東側からは遺構が見つかってないことがから、集落の東側の区画となつていたと考えられます。出土した木製品は農具が多いですが、日常用品としても見つかっています。この時代の木製品としては町内初の資料となり

1棟、土器を焼いた土坑などが見つかっています。堅穴式住居は平面が長方形となり、2本柱で床の中央に炉があります。壁際にベッド状遺構と呼ばれる一段高い部分が作られています。住居同士が重なり合つていなことがあります。壁際には比較的短い期間しか集落が営まれていない可能性が高いと推定されます。



▲出土した三叉鉤(すき)

出土した銅戈は、この弥生時代後期のもので、破片ですが、復元してみると「中広形」と呼ばれるタイプで、刃もありません。破片も2m四方ほどの範囲に散らばって見つかっています。これから祭りの際に意識的に割つたものであろうと考えられます。

### 遺跡の意義

弥生時代後期に、人々はこの遺跡のように水辺の平坦な場所に集落を営んでいたことが分かりました。そして、出土した土器や木製品から当時の人々の暮らしを、銅戈から当時の祭りを伺い知ることができました。我が町の「宝」がまた一つ増えたと言えるでしょう。

(辛嶋 真治)



▲出土した銅戈

### 弥生人の祭り

また、この路の東側斜面から青銅製の銅戈が片8点が出土しました。発掘調査によつてはつ

きりとした形で銅戈が出土したのです。銅戈とは元々中国で使われた武器ですが、日本では弥生時代後期に刃が長く幅広になつて武器としての実用性を失つてあります。

が、日本では銅戈とは元々中國で使われた武器ですが、日本では弥生時代後期に刃が長く幅広になつて武器としての実用性を失つてあります。